

人材育成委員会

5月14日
本部会議室
出席委員等11人

学生に興味と安心感を 合同就職説明会

11月に予定されるパチンコ・パチスロ産業合同就職説明会と、10月にオープンされる関連WEBサイトの内容を、(株)リクルートの担当者を招いて討議した。イベント(説明会)は東京ビッグサイトで行なわれる予定だが、個別企業ではなくパチンコ・パチスロ産業として展示ブースを持つのが特徴。業界の全体像や各業種の仕事内容をアピールするとともに、日遊協会員個社の就職説明会に優秀な学生を誘導して行く。



合同就職説明会のWEBサイトを検討した人材育成委員会

WEBサイトの検討は、リクルート作成の案をたたき台に進められた。「学生に対して有効なインパクトは何か、各社のこれまでの経験も集めて検討しよう」という意見があった。業界の客観的事実を伝える「トピックス」面の内容は、「学生の思っていた業界と違うイメージが見えてくると、『あ、そうだったのか』と、興味を持ってもらい、インパクトが強い。業界内では常識でも一般にはよく知られていない情報を提供したらどうか」「エコ関連の情報を加えてほしい」「産業界内の就業人口の多さをアピールすることで、就職に安心感を持ってもらう」「昔の暗いイメージを持つ親たちに向けて、現在の業界の近代的で明るいイメージをアピールする」「店舗の責任者は若いから、若い人が活躍できる場として強調したい」などの意見が出された。トピックスの内容についてはさらに詰め、できれば6月中

にデザインの方角性を決めたいとしている。

また、イベント当日、ブースで行われる8時間のプログラムについて、各自がアイデアを持ち寄って検討することになった。

マネカレ、講演者の人選へ

次世代の業界リーダーたちを養成する第4回遊技産業マネジメントカレッジのゲスト講演者を選出した。業界内外から候補者を出し合い、近く決定する。今回のマネジメントカレッジの日程は9月9～11日、会場は埼玉県熊谷市のホテルヘリテージが予定されている。研修参加者として会員企業から50人程度、会員外の企業から10人程度の中堅管理職をそれぞれ募集する。スケジュールは前回と同様、最初の2日間はグループごとのディスカッション、プレゼンテーション、ゲストの講演、業界トップとの交流パーティーなど、3日目は同県嵐山町、共生の森での社会貢献活動(下草刈りなど)が予定されている。

会議冒頭に第3期高原の風プロジェクトチームが進めている活動

の進捗状況の報告があり、初心者にはパチンコ・パチスロの遊び方を紹介するサイト「はじめてパチンコ」実写バージョンが説明された。

社会貢献・環境対策 委員会

5月14日
本部会議室
出席委員等13人

活動4チームを編成 共生の森、展示会など

委員会の今年度の主な活動を、①共生の森 ②モニタリング ③展示会(環境フェア) ④情報発信の4項目とし、各項目の活動主体となる4チームを編成した。共生の森チームは当面、6月26日の1回目の下草刈り、9月11日に遊技産業マネジメント・カレッジの参加者主体で行う2回目の下草刈りのそれぞれの実行スケジュールを詰め、さらに「本番」となる10月30日の第3回植樹祭に向けての段取り、イベントの内容(植林、昼食ゲーム、工作教室など)を検討していく。

省エネでモニタリング

モニタリングチームは、各種の



4チームの編成を行なった社会貢献・環境対策委員会

この日、省エネ装置のモニタリングに関連して、電気計測器のメーカー、日置電機(株)の担当者がホールのデマンド(需要電力)監視とエコ活動への効果についてレクチャーした。

経営改革 委員会

5月11日
本部会議室
出席委員等16人

消費税討議を復習 プロジェクト再結成も

近い将来の消費税率アップに備えるため、消費税制度を基本的に理解しておきたいとの要望が委員の間から出され、旧・消費税部会が昨年1月からことし3月まで行った討議の経過と結果が改めて紹介された。消費税制度の仕組み、

省エネ装置を導入したホールを対象にモニタリングをし、その効果をまとめる。展示会チームは、来年2月に予定している環境フェアに向けて、モニタリングチームによる省エネ装置導入効果のまとめなどを含めた企画を練っていく。環境フェアは遊技機開発委員会が「消費時間」と「わかりやすいゲーム性」をテーマに新たに開発する新しい遊技機の試打及びヒアリング会と合同で開催する予定となっている。情報発信チームは、ホール5団体(全日遊連、日遊協、同友会、余暇進、PCSA)で進めている省エネ・ノウハウなどのエコ活動情報を発信していく。



消費税対策で協議した経営改革委員会

全日遊連との意見のすり合わせ、とくに経営的な対応に関して全日遊連とのコンセンサスづくり、貯玉・貯メダル再プレーサービス運用によるメリット、税率アップにおける影響額シミュレーションなどが説明された。その上で、日遊協としてのシステムの対応はCRユニットと払い出し基板との間のインターフェースの変更とし、新インターフェースの2年以内の製品化を日工組、PSA(一般社団法人プリペイドシステム協会)に要望していくという最終結論が報告された。

さらに、貸玉料金の外税転嫁を理解してもらうためお客様への啓蒙活動を推進していくこと、今後の消費税の動向を見て消費税部会のようなプロジェクトチームを再結成することなどの必要性が指摘された。

広報委員会

5月13日
本部会議室
出席委員等15人

4カテゴリに分類 HPを使いやすく

前回に引き続いて、日遊協ホー



ホームページ改革で審議した広報委員会。挨拶する松谷・明日の協会創造室室長

ムページの改善について協議した。ホームページを制作しているチェックワールド(株)が前回出た意見に沿ってトップページの改善案を提出し、それをたたき台に意見を出し合った。改善案では、現在のトップページが店長等と遊技機取扱主任者の各講習・試験関係で埋もれているので、アピールしたいコンテンツを厳選し、「講習・試験」「イベント」「社会貢献」「お知らせ」の4カテゴリをタブ(画面切り換え)で分類した。カテゴリ化したメリットとしてスペースを取らずに多くのお知らせを掲載でき、目立たない記事も見つけやすくなること、一方、デメリットとして最初に表示されるタブ以外の記事はクリックしないう目に入らなくなることを、

開発に少し時間がかかることなどがそれぞれ挙げられた。

一般の人へアプローチ

現在のサイトが会員・業界向けの比重になっているので、一般の人にも興味を持つようなトップページにするための議論が中心となった。トップページでタグ(情報を埋め込む文字)を利用して「業界・会員」と「一般」を分ける、トップページにはジャンルを問わず新着情報をとりにあえず載せてそこから入っていくようにする、などの意見が出され、なお詰めていくことになった。このほか、トップに日遊協の簡潔なキヤッチコピーがほしい、ヤフー、グーグルの検索サイトで上位に出てくるような検索エンジンの対策が必要、各専門委員会のプロジェクトが具体的に動けばそれらの情報を会員向けに逐一サイトで取り上げていきたいなどの意見が出された。会議で出された意見のうち実施に支障ない意見はリアルタイムでホームページに反映させていくことを申し合わせた。とりあえず遊技取扱主任者のページのメニューがごちゃごちゃしてわかりにくいいため、最初の表示ページにナビ

ゲーシヨンページを設置し、「受講・受験資格」「受付」「申込手続き手数料」「様式及び記載例」「申請フォーム」などを取り出しやすいよう改善した。

遊技機健全化委員会

5月21日
本部会議室
出席委員等18人

発見、対処法など要望受け 不正対策勉強会、11日スタート

ゴトの最新の事態と対策を第一線で働く人たちに周知してもらい、コンプライアンス営業の一層の向上を図ってもらうための不正対策勉強会は、昨年引き続きことし6月11日の東京会場を皮切りに、名古屋、福岡、広島、大阪の5会



不正対策勉強会の内容を練った遊技機健全化委員会

場で開かれる(今秋に札幌でも開催予定)が、今後、講義内容に加えてほしい事項を募った。その結果、①閉店後の点検ポイント②ゴトをやられた後、痕跡を発見する方法③ゴト現場での対処方法④ゴトをやられた後の機械の取扱い——などが挙げられた。また、勉強会参加者が持ち帰り、現場で働く人たちが参考にできるような資料またはレジュメを発行してほしいとの要望が出された。

参加費用(1人)については、会員企業が従来の5000円から3000円に、会員以外の企業が7000円から5000円にそれぞれ引き下げられた。

参加希望者は申込書(日遊協ホームページに掲載)に必要な事項を記入の上、日遊協宛てにファックス(03・3553・4334)で申し込む。受付後、ファックス又はメールで請求書が送られる。振り込み確認後に受講案内、地図が送られる。不正対策勉強会のスケジュールと会場は下記の通り。

▽東京 6月11日(金)

東実健保会館(東日本橋)

▽名古屋 6月23日(水)

愛知県水産会館(地下鉄市役所駅)

▽福岡 7月6日(火)
博多サンヒルズホテル(博多)

▽広島 7月7日(水)

広島ガーデンパレス

(広島駅新幹線口)

▽大阪 7月9日(金)

大阪国際交流センター(上本町)

遊技機開発委員会

5月21日
本部会議室
出席委員等18人

2チームで新開発機を討議 ファン調査のたたき台を提案

来年2月に予定される「開発機試打及びヒアリング会」は、遊技機開発委員会が「消費時間」と「わかりやすいゲーム性」をテーマに新たに開発した遊技機を一般ファンに提案する場となるが、社会貢献・環境対策委員会の「環境フェア」と合同で開催する方向が強まり、近く両委員会が調整が行われることになった。会場は未定だが、東京フォラムなどが候補に上がっている。現在のファンを減少させず、さらには新たなファンを増大・創出させる新たな遊技機の開発・企画を行うため、パチンコ、パチスロの2チームに分かれて討議した。



新たな遊技機の企画・開発を討議した遊技機開発委員会

パチスロチームは、特定のパチスロ機種がなぜ支持されているか、新しい機械開発に向けて人気機種で遊んでいるお客様の動向を分析することになった。パチンコチームは、退社後のサラリーマンなど夜間のお客様増加策を検討する。また、パチスロ5号機が定着してきたことから、5号機のエッセンスを参考にパチンコ機を開発してみてはという意見も出た。

パチンコ・パチスロに関するファンアンケート調査のたたき台が提案された。協力してくれるホールの負担を考え、設問は減らし気味にした。次回の委員会(6月18日)で設問を確定し、7月下旬に実施の予定。



初会合が持たれた支部強化委員会

支部強化委員会は北海道、東北、東京都・関東、中部、近畿、中国・四国、九州の全国7支部の支部長を中心に構成され、原則として理事会開催日に年3回の会合を予定している。初会合は第1回定例理事会後に開かれ、7支部の組織体制と活動状況が報告された。

店長等講習用のテキスト改訂の進捗状況について説明があった。この中で、「店長にこだわらず、メ

支部強化委員会 会員メリットが大事 強化策で活発な論議

5月28日
グランドハイアット福岡
出席委員等9人

「カー、販社の人も対象に横断的に人材育成を図り、人間関係もつくってもらえば、参加のメリットが出てくるのではないか」という意見が出された。

このあと、今後の支部強化活動についてフリートークで意見を出し合った。

「最初のころを思い出すと、夢を

持てる組織だった。そのへんにヒントがある」「東京の青年部が伸びた理由は、都遊連に行けば不正情報が入りやすかった。それによって自分の店もお客さまも守れるというメリットがあったからだ。支部強化にもこのようなメリットが

「大事だ」「支部の中でも会員が多い県とゼロに近い県とがある。総花的ではなく、ポイント(県)を決めて攻めたほうが、より具体的な強化につながるのではないか」「メリットが参加している支部は会員が多いし、活発に活動している」などの意見が出された。

6月の行事予定

3日(木)	14:30~17:00	第21回通常総会 (KKRホテル東京)
	17:30~17:45	記者会見(同)
	17:45~	懇親会(同)
4日(金)		貯玉補償基金総会(グランドアーク半蔵門)
7日(月)	10:00~17:10	遊技機取扱主任者講習・新規(メルパルク広島)
	14:00~	登録資格審査委員会
8日(火)	10:00~16:50	遊技機取扱主任者講習・更新(メルパルク広島)
	15:30~17:30	経営改革委員会
9日(水)	10:00~16:55	店長等講習(メルパルク広島)
	13:30~	不正対策室会議
10日(木)	13:00~15:00	広報委員会
11日(金)	13:00~	不正対策勉強会(東実健保会館)
	15:00~17:00	人材育成委員会
17日(木)	14:00~	中国・四国支部総会(ホテルセンチュリー21)
18日(金)	13:00~15:00	遊技機開発委員会
	15:30~17:30	遊技機健全化委員会
	15:00~	有識者会議(グランドアーク半蔵門)
21日(月)	15:00~	中部支部総会(名古屋ガーデンパレス)
22日(火)	13:30~16:30	セキュリティー対策委員会
23日(水)	13:00~	不正対策勉強会(愛知県水産会館)
24日(木)	10:00~17:10	遊技機取扱主任者講習・新規(名古屋ガーデンパレス)
25日(金)	10:00~16:50	遊技機取扱主任者講習・更新(名古屋ガーデンパレス)
	15:00~17:00	社会貢献・環境対策委員会(嵐山町・国立女性教育会館)
26日(土)	8:30~	共生の森下草刈り(嵐山町)

CCNE